

## 執筆者及び翻訳者紹介（掲載順）

比令・亞布（ぴりん やぶ）	台中市博屋瑪国民小学校 校長
王 雅萍（わん やあびん）	国立政治大学民族学系 副教授兼系主任
石村 明子（いしむら あきこ）	中国語通訳・翻訳者
鶴園 裕基（つるぞの ゆうき）	早稲田大学台湾研究所 客員次席研究員
鍾 欣宏（ちよん しんほん）	立教大学大学院法学研究科 博士後期課程
今井 孝司（いまい たかし）	帝塚山大学経済学研究科 博士後期課程
中嶋 航一（なかじま こういち）	帝塚山大学経済経営学部 教授
宮畑加奈子（みやはた かなこ）	広島経済大学教養教育部 教授
岡野/葉 翔太（おかの/よう しょうた）	大阪大学大学院人間科学研究科 博士後期課程
許 佩賢（きょ はいけん）	国立台湾師範大学台湾史研究所 教授
植野 弘子（うえの ひろこ）	東洋大学アジア文化研究所 客員研究員
福田 円（ふくだ まどか）	法政大学法学部 教授
白井 魁（しらい かい）	一橋大学大学院言語社会研究科 博士後期課程
八尾 祥平（やお しょうへい）	日本学術振興会 特別研究員
清水 麗（しみず うらら）	麗澤大学外国語学部 教授
謝 惠貞（しゃ けいてい）	文藻外語大学日本語文系 専案副教授
楊 子震（よう ししん）	南台科技大學通識教育中心 助理教授
岸川 毅（きしかわ たけし）	上智大学総合グローバル学部 教授
春山 明哲（はるやま めいてつ）	早稲田大学台湾研究所 招聘研究員

## 編集委員

上水流久彦（委員長）、赤松美和子（書評主任）、家永真幸、佐藤幸人、垂水知恵、羽根次郎、松金公正（副委員長）。

## 英文アドバイザー

長谷川健治

## 編集後記

コロナ感染拡大の影響を受けて刊行がどうなるかと心配しておりましたが、無事に第22号を届けることができました。厳しい社会情勢のなか、継続して本学会報を会員の皆様方にお渡しできるのは、一般財団法人台湾協会のご支援のおかげです。長年の変わらぬご支援に対して、心より御礼を申し上げます。

2019年度の福岡大学での学術大会のシンポジウムを2本、冒頭に掲載しております。台湾の「原住民（先住民）」の教育的取り組みに関するものです。日本のアイヌをはじめ、世界の先住民の問題を考えるうえでも参考になる内容となっています。また、今号は、書評が大変充実したものとなり、文学、政治、歴史、法など幅広い内容の11本が掲載されています。そして、一昨年度から始めたシリーズ「台湾研究を始めるということ」については、春山明哲本学会名誉理事長にお願いしました。台湾研究の胎動を感じさせるエッセイとなっています。

22号では投稿希望が14本（内、投稿されたものは11本）で、掲載は論文3本となりました。書評の投稿希望は1本でした。現在、編集委員会では事前に投稿希望を募り、原稿が投稿される間に査読者を見つけるようにしています。今回は、3本が未投稿となり、査読を引き受けていただいた会員の方には、ご迷惑をかけました。しかしながら、次号もこの方式で行く予定です。査読者に余裕をもって査読してもらい、充実した査読ができると考えているためです。会員の皆様には、この点をご理解いただき、数多く、投稿いただければと思います。よろしく願いいたします。

今期から新たな編集委員会の体制となりました。委員は、前頁のとおりです。そして、今期から書評業務を中心的に担っていただく書評主任のポストをもうけました。新たな委員のもと、より充実した学会誌を皆様お届けられるよう、努力をいたします。会員の皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、執筆者、査読を引き受けてくださった学会内外の方、投稿くださった会員の方、文成印刷の皆様にご心より御礼申し上げます。

（編集委員長 上水流久彦）

日本台湾学会報 第22号 2020年6月30日発行

編集・発行：日本台湾学会『日本台湾学会報』編集委員会  
〒261-8545 千葉市美浜区若葉3-2-2  
日本貿易振興機構 アジア経済研究所  
川上桃子研究室気付  
E-mail：nihontaiwangakkai@gmail.com  
ウェブサイト：http://www.jats.gr.jp/